

詩・和歌・俳句・川柳 その773 photo by Kumi (HPにカラー写真掲載)

- ☆花と云えばさくらと名付け慶き哉 (2/16 有生・総子夫妻に第一子誕生)
- ☆林檎十桜エビさくら玉子六 (2/23 リュックに詰め母子を訪ぬ)
- ☆目に映るは虹色のクイーンズランド (ニジイロクワガタ出生地)
- ☆降り立ちて西に三日月家は東 (如月 帰路 JR 逗子駅)
- ☆海底見える河豚釣りおり岸壁 (冬の風の日)
- ☆季語フシギ幼きころ湧き出る (わたしの好きな季語)
- ☆小判身につけ出芽するこの世に (2/23 小判草)
- ☆まるかじりきんかん匂ふてふてふ



河津桜2/14逗子第一運動公園

植魚
植魚
植魚
植魚
植魚
植魚
植魚
植魚

詩・和歌・俳句・川柳 その774 photo by Kumi (HPにカラー写真掲載)

- ☆さくらうっすらとあけ映す小判草 (2/23 生後七日の孫“桜”を訪ねる)
- ☆草野心平春のうたイヌノフグリ (同日)
- ☆はるかに遠くはるかに高く富士見ゆ (2/28 鷹取山展望台より)
- ☆銀山平の野に木耳干す人 (2/28 父と昭和30年頃)
- ☆五分付き玄米噛締め野沢菜 (2/28)
- ☆桃紅の眠りから覚め新百合 (3/1 篠田桃紅さん逝く107歳)
- ☆絵葉書三枚届いたと叫ぶ妹 (令和3年3月3日消印)
- ☆カブトムシの話に乗り出すワレ (3/5)

オオイヌノフグリ



小判草



植魚
植魚
植魚
植魚
植魚
植魚
植魚
植魚

詩・和歌・俳句・川柳 その775 photo by Kumi (HPにカラー写真掲載)

- ☆鎌倉と逗子に一軒ミモザの家 (如月～弥生)
- ☆土筆探しに二人して川辺往く (3/7)
- ☆君あったよこっちにもつくしんぼ (同上)
- ☆落の臺合間に帽子出す土筆 (同上)
- ☆まったりと鮪にたらす醤油かな (弥生)
- ☆生ひじき御飯に混ざり嬉しそう (同上)
- ☆夜アーモンド噛砕く入歯かな (同上)
- ☆岩塩やずっしりと重いゆで玉子 (平飼い卵)

ミモザ



落の臺/土筆



植魚
植魚
植魚
植魚
植魚
植魚
植魚
植魚

詩・和歌・俳句・川柳 その776 photo by Kumi (HPにカラー写真掲載)

- ☆今朝雨の音雨の日静かなり (3/12~3/13の雨に寄せて)
- ☆イワタバコ如雨露から空から水 (3/12朝)
- ☆水溜まり波紋じっと見ていた僕 (幼年時代)
- ☆棧に腰掛け雨の雫眺めおり (少年時代)
- ☆春愁ひ目の前通り過ぎる雨 (青年時代)
- ☆子と空に口開け雨受け大笑ひ (老年時代 マホリホコウタロウヒロト)
- ☆激しく打つ雨子の画の太さかな (散歩の途中で俄雨)
- ☆ずぶ濡れに浮く足ころ君と僕 (コロナ元年 妻と夏の夜)
- ☆頭上鳴る春雷とはこのことか (3/13 昼下り町田)

イワタバコ



植魚
植魚
植魚
植魚
植魚
植魚
植魚
植魚
植魚

詩・和歌・俳句・川柳 その777 photo by Kumi (HPにカラー写真掲載)

- ☆映画館座席下流るる大雨 (その昔 父と人形町)
- ☆吹く風新しい芽噴くみどり色 (3/21 強風)
- ☆木に登り樹にしがみ付き死んだニジ (ニジイロクワガタ♂)
- ☆ワレラに生命与えし最期まで (同上)
- ☆ニジイロの棺虹色に輝き (同上)
- ☆海原樹林甲虫宇宙へ (遠足・ワークショップ)
- ☆春愁ひ粥作る妻早起きす (食事療法)
- ☆枯れた葉茎根付き芽吹きハイタッチ (3/27 朝)



クラゲ(油絵) by kumi

植魚
植魚
植魚
植魚
植魚
植魚
植魚
植魚